

(様式第10)

佐大医経第1278号

令和 4年 10月 4日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人佐賀大学
学長 兒玉 浩明

佐賀大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
氏名	国立大学法人佐賀大学 学長 兒玉 浩明

2 名称

佐賀大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号
電話(0952)31-6511

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		○	11リウマチ科	
診療実績							

(2)外科

外科	有						
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科

	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(4)歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	肝臓・糖尿病・内分泌内科	3	血液・腫瘍内科	4	ペインクリニック・緩和ケア外科	5	形成外科
6	リハビリテーション科	7	病理診断科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
22				580	602

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	365	77	378.92
歯科医師	11	3	11.46
薬剤師	44	0	44
保健師	0	0	0
助産師	22	0	22
看護師	658	26	675.2
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	1	0	1
管理栄養士	10	0	10

職種	員数
看護補助者	52
理学療法士	13
作業療法士	6
視能訓練士	3
義肢装具士	0
臨床工学士	12
栄養士	0
歯科技工士	1
診療放射線技師	32

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	40
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	7	
その他の技術員	42	
事務職員	310	
その他の職員	55	

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	47	眼科専門医	7
外科専門医	25	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	4	放射線科専門医	14
小児科専門医	13	脳神経外科専門医	8
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	12
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	17
産婦人科専門医	13	救急科専門医	11
		合計	193

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (野口 満) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

令和元年10月1日～令和4年3月31日 医療安全管理委員会構成員(メディカルサポートセンター長)
令和4年4月1日～令和4年10月1日 医療安全管理委員会構成員(病院長)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	451.5 人	9.9 人	461.4 人
1日当たり平均外来患者数	911.9 人	65.1 人	977 人
1日当たり平均調剤数		792.8	剤
必要医師数		99	人
必要歯科医師数		3	人
必要薬剤師数		15(法定人員)、10(標準人員)	人
必要(准)看護師数		247	人

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	人工呼吸装置	その他の救急蘇生装置	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー
集中治療室	311.14 m ²	鉄筋コンクリート	16 床	有	有	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	128.66 m ²		病床数	9 床
	[移動式の場合]	台数	13 台			
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積			44	m ²
	[共用室の場合]	共用する室名			無	
化学検査室	261 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動血液分析機、自動生化学分析器		
細菌検査室	81 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動塗布装置、自動薬剤感受性検査装置		
病理検査室	214 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動包埋装置、クリオスタット		
病理解剖室	53 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	特殊解剖台、特殊型計量測定運搬車		
研究室	2,054 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	顕微鏡、遠心機、培養装置、パソコン		
講義室	2,047 m ²	鉄筋コンクリート	室数	15 室	收容定員	1,555 人

図書室	629 m ²	鉄筋コンクリート	室数	4	室	蔵書数	113,000	冊程度
-----	--------------------	----------	----	---	---	-----	---------	-----

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	96.5	%	逆紹介率	93.3	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数			11,502	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			13,035	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,991	人
	D: 初診の患者の数			13,978	人

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学病院	○	医療機関において、医療安全に関する業務若しくは医療安全に係る研究に従事した経験を有する者	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
前川 律子	公益社団法人佐賀県看護協会		医療機関において、医療安全に関する業務若しくは医療安全に係る研究に従事した経験を有する者	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩永 幸三	認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク		医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者	無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	結節性硬化症	8
2	筋萎縮性側索硬化症	24	57	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	8
3	脊髄性筋萎縮症	4	58	特発性後天性全身性無汗症	1
4	進行性核上性麻痺	5	59	一次性ネフローゼ症候群	27
5	パーキンソン病	64	60	紫斑病性腎炎	4
6	大脳皮質基底核変性症	4	61	ウォルフラム症候群	1
7	ハンチントン病	1	62	副甲状腺機能低下症	2
8	神経有棘赤血球症	1	63	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3
9	シャルコー・マリー・トゥース病	3	64	フェニルケトン尿症	1
10	重症筋無力症	47	65	尿素サイクル異常症	2
11	多発性硬化症/視神経脊髄炎	56	66	肝型糖原病	1
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	13	67	家族性地中海熱	3
13	封入体筋炎	2	68	強直性脊椎炎	18
14	クドウ・深瀬症候群	1	69	特発性多中心性キャッスルマン病	2
15	多系統萎縮症	11	70	ペーチェット病	34
16	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	16	71	特発性拡張型心筋症	32
17	ライソゾーム病	5	72	肥大型心筋症	6
18	ミトコンドリア病	11	73	拘束型心筋症	1
19	もやもや病	55	74	再生不良性貧血	24
20	プリオン病	5	75	自己免疫性溶血性貧血	1
21	亜急性硬化性全脳炎	1	76	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
22	HTLV-1関連脊髄症	8	77	特発性血小板減少性紫斑病	35
23	全身性アミロイドーシス	29	78	血栓性血小板減少性紫斑病	2
24	遠位型ミオパチー	3	79	原発性免疫不全症候群	7
25	神経線維腫症	14	80	IgA腎症	34
26	天疱瘡	9	81	多発性嚢胞腎	28
27	膿疱性乾癬(汎発型)	8	82	黄色靱帯骨化症	15
28	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	83	後縦靱帯骨化症	27
29	高安動脈炎	16	84	広範脊柱管狭窄症	8
30	巨細胞性動脈炎	3	85	特発性大腿骨頭壊死症	111
31	結節性多発動脈炎	5	86	下垂体性ADH分泌異常症	11
32	顕微鏡的多発血管炎	23	87	下垂体性TSH分泌亢進症	2
33	多発血管炎性肉芽腫症	31	88	下垂体性PRL分泌亢進症	10
34	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	17	89	クッシング病	3
35	悪性関節リウマチ	9	90	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	11
36	パージャール病	3	91	下垂体前葉機能低下症	46
37	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	92	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
38	全身性エリテマトーデス	232	93	サルコイドーシス	49
39	皮膚筋炎/多発性筋炎	85	94	特発性間質性肺炎	23
40	全身性強皮症	52	95	肺動脈性肺高血圧症	12
41	混合性結合組織病	28	96	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4
42	シェーグレン症候群	43	97	リンパ脈管筋腫症	5
43	成人スチル病	14	98	網膜色素変性症	17
44	再発性多発軟骨炎	4	99	原発性胆汁性肝硬変	20
45	先天性ミオパチー	2	100	原発性硬化性胆管炎	4
46	筋ジストロフィー	6	101	自己免疫性肝炎	6
47	アトピー性脊髄炎	2	102	クローン病	125
48	脊髄髄膜瘤	1	103	潰瘍性大腸炎	210
49	アイザックス症候群	1	104	好酸球性消化管疾患	2
50	遺伝性ジストニア	1	105	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	5
51	前頭側頭葉変性症	1	106	非典型溶血性尿毒症症候群	1
52	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1	107	弾性線維性仮性黄色腫	1
53	ドラベ症候群	1	108	マルファン症候群	3
54	ランドウ・クレフナー症候群	1	109	エーラス・ダンロス症候群	1
55	レット症候群	1	110	ウィルソン病	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	ウィリアムズ症候群	1			
112	プラダー・ウィリ症候群	2			
113	完全大血管転位症	1			
114	単心室症	5			
115	左心低形成症候群	1			
116	三尖弁閉鎖症	1			
117	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2			
118	ファロー四徴症	4			
119	アルポート症候群	2			
120	急速進行性糸球体腎炎	3			
121	後天性赤芽球癆	3			
122	エプスタイン症候群	1			
123	クロンカイト・カナダ症候群	1			
124	非特異性多発性小腸潰瘍症	1			
125	IgG4関連疾患	6			
126	好酸球性副鼻腔炎	10			
127	先天異常症候群	1			
128	大理石骨病	2			
129	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2			

疾患数	129
合計患者数(人)	2,061

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・呼吸ケアチーム加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・後発医薬品使用体制加算3
・特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	・病棟薬剤業務実施加算
・救急医療管理加算	・データ提出加算2
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算1
・診療録管理体制加算1	・入院時支援加算
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割未満)	・精神疾患診療体制加算
・看護職員夜間12対1配置加算2	・精神科急性期医師配置加算
・看護補助加算2	・地域医療体制確保加算
・療養環境加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・重症者等療養環境特別加算	・救命救急入院料3
・無菌治療室管理加算1	・救命救急入院料4
・無菌治療室管理加算2	・特定集中治療室管理料2
・緩和ケア診療加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・感染対策向上加算(注2 指導強化加算)	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料(注2)	・医療機器安全管理料2
・外来栄養食事指導料(注3)	・精神科退院時共同指導料1及び2
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
・糖尿病合併症管理料	・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ロ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ハ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ニ	・遺伝学的検査
・外来緩和ケア管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・BRCA1/2遺伝子検査(血液を検体とするもの)
・糖尿病透析予防指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞を検体とするもの)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・がんゲノムプロファイリング検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・先天性代謝異常症検査
・腎代替療法指導管理料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・下肢創傷処置管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・外来放射線照射診療料	・検体検査管理加算(IV)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・国際標準検査管理加算
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料)	・遺伝カウンセリング加算
・ニコチン依存症管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・相談支援加算(療養・就労両立支援指導料)	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん治療連携計画策定料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・胎児心エコー法
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ヘッドアップティルト試験
・薬剤管理指導料	・人工臓器検査、人工臓器療法
・医療機器安全管理料1	・皮下連続式グルコース測定

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・単線維筋電図	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・脳波検査判断料1	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・神経学的検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・補聴器適合検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・全視野精密網膜電図	・がん患者リハビリテーション料
・ロービジョン検査判断料	・集団コミュニケーション療法料
・小児食物アレルギー負荷検査	・経頭蓋磁気刺激療法
・内服・点滴誘発試験	・救急患者精神科継続支援料
・CT透視下気管支鏡検査加算	・認知療法・認知行動療法
・経気管支凍結生検法	・医療保護入院等診療料
・精密触覚機能検査	・処置の休日加算1
・睡眠時歯科筋電図検査	・処置の時間外加算1
・画像診断管理加算3	・処置の深夜加算1
・ポジロン断層撮影	・多血小板血漿処置
・ポジロン断層・コンピューター断層複合撮影	・硬膜外自家血注入
・CT撮影及びMRI撮影	・人工腎臓
・冠動脈CT撮影加算	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・外傷全身CT加算	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・心臓MRI撮影加算	・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)
・乳房MRI撮影加算	・口腔粘膜処置
・小児鎮静下MRI撮影加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・頭部MRI撮影加算	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・外来化学療法加算1	・皮膚移植術(死体)
・無菌製剤処理料	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・椎間板内酵素注入療法	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・胸腔鏡下弁形成術
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・胸腔鏡下弁置換術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(内視鏡下によるもの)に限る。)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・経皮的カテーテル心筋焼灼術における磁気ナビゲーション加算
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・経皮的中隔心筋焼灼術
・角膜移植術(内皮移植加算)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・羊膜移植術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・網膜再建術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・補助人工心臓
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1。)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算2)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))

・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・バルーン閉塞下経静脈的塞栓術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・手術の時間外加算1
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・手術の深夜加算1
・腹腔鏡下肝切除術	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・輸血管管理料Ⅱ
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・自己生体組織接着剤作成術
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・自己クリオプレシペート作製術(用手法)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・同種クリオプレシペート作製術
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・レーザー機器加算の施設基準
・同種死体腎移植術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・生体腎移植術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・外来放射線治療加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・高エネルギー放射線治療
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
cfDNA自然史と抗腫瘍免疫への影響の解明	中島 千穂	呼吸器内科	1,690,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
腸管ホルモンGLP-1をターゲットとした肥満による難治性喘息の制御	田代 宏樹	呼吸器内科	1,560,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
がんゲノム検査で得られたゲノム情報の解析と薬効評価システムの構築	荒金 尚子	呼吸器内科	1,170,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
バイオ3Dプリンターを用いた脳アミロイド血管症モデルの病態機序の解明	原 英夫	脳神経内科	1,300,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
スモンに関する調査研究	原 英夫	脳神経内科	400,000	補委	厚生労働行政推進調査事業費補助金
全ての慢性骨髄性白血病患者の治癒を目指した新規薬剤の開発と免疫状態の解明	木村 晋也	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
新規DNAメチル化阻害剤を用いたCML幹細胞を標的とした治療戦略	嬉野 博志	血液・腫瘍内科	1,170,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
sEH阻害ワクチンによる循環器病の治療法の開発	白木 綾	循環器内科	910,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
心房細動症例における心房筋の組織学的評価	山口 尊則	循環器内科	1,820,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
急性心筋梗塞の超急性期臨床指標を用いた汎用型予後予測モデルの開発	田中 敦史	循環器内科	1,300,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えなどの状況も踏まえた循環器病の医療提供体制の構築に向けた研究	野出 孝一	循環器内科	11,024,000	補委	厚生労働行政推進調査事業費補助金
循環器病に関する適切な情報提供・相談支援のための方策と体制等の効果的な展開に向けた研究	野出 孝一	循環器内科	200,000	補委	厚生労働科学研究費補助金
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	江崎 幹宏	消化器内科	200,000	補委	厚生労働科学研究費補助金
運動惹起性へパトカインのNASH肝線維化抑制効果	田中 賢一	肝臓・糖尿病・内分泌内科	1,430,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
サルコペニアがNAFLDの肝病態に与える影響についての検討	桑代 卓也	肝臓・糖尿病・内分泌内科	1,170,000	補委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金

小計15件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
医療情報データベースの活用推進に関する研究	安西 慶三	肝臓・糖尿病・内分泌内科	3,500,000	補委	厚生労働行政推進調査事業費補助金
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	安西 慶三	肝臓・糖尿病・内分泌内科	300,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
3型自然リンパ球の皮膚炎と皮膚バリアにおよぼす影響の解明	杉田 和成	皮膚科	1,040,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
NASH/NAFLD肝臓に対するファルネシル転換酵素阻害薬による新規治療戦略	田中 智和	一般・消化器外科	260,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
ファルネシル化に着目した胃癌悪液質に対する新規治療開発に向けた基礎的研究	能城 浩和	一般・消化器外科	1,690,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
スキルス胃癌に対するANGPTL4を標的とした新たな治療戦略の開発	馬場 耕一	一般・消化器外科	1,300,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
バイオ3Dプリンタ、幹細胞技術を用いた下肢遠位動脈バイパス用小口径人工血管の開発	伊藤 学	心臓血管外科	2,600,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
頭蓋縫合早期癒合症の病態における骨芽細胞の分化とその役割	吉岡 史隆	脳神経外科	650,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
脳腫瘍幹細胞の非対称性分裂におけるエピジェネティクス制御機構の解明	中原 由紀子	脳神経外科	1,820,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
頸動脈プラーク内出血におけるIL-27の機能解明と新規治療の開発	緒方 敦之	脳神経外科	1,040,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
IL-27およびIL-27関連分子を標的とした脳梗塞における脳保護療法の創出	古川 隆	脳神経外科	1,950,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
脳腫瘍のH3K27M変異をターゲットにした新規治療法の開発	阿部 竜也	脳神経外科	1,430,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
DIF-1によるMycを標的とした新たな髄芽腫治療研究	伊藤 寛	脳神経外科	1,430,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
スクレロシン制御に関わる核蛋白質による骨形成及び骨細胞の機能調節機構の解明	馬渡 正明	整形外科	1,040,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
銀-ハイドロキシアパタイト複合体をコーティングした新規脊椎インプラントの開発	森本 忠嗣	整形外科	260,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
三次元細胞培養を用いた骨髄炎治療時の骨代謝の挙動解明	上野 雅也	整形外科	2,600,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	馬渡 正明	整形外科	100,000	補委	厚生労働科学研究費補助金
尿道下裂動物モデルを用いた尿道狭窄抑制デバイスの効果およびその作用機序の解明解析	東武 昇平	泌尿器科	780,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金

小計18件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
腎癌細胞と腫瘍微小環境の相互作用とその分子メカニズムの解明	永瀬 圭	泌尿器科	1,300,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
糖尿病患者の足根管症候群に対する脛骨神経除圧に関する研究(大切断回避の予防戦略)	上村 哲司	形成外科	2,080,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
肺癌発症リスクの高い肺線維症CT画像を検出する解析基盤およびAI作成	江頭 玲子	放射線科	780,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
MRIによる癌微小環境をもとにした乳癌サブタイプ分類の診断基準の確立	山口 健	放射線科	1,300,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
せん妄群と非せん妄群における血中の単球から誘導したミクログリア様細胞の動態比較	村川 徹	精神神経科	520,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
反復性経頭蓋磁気刺激による治療抵抗性うつ病の治療メカニズムの探索	立石 洋	精神神経科	1,300,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
コロナ禍の心理ストレスが高齢者の2年後のうつ状態、認知機能低下に与える影響	國武 裕	精神神経科	1,430,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	門司 晃	精神神経科	200,000	補 委	厚生労働行政推進調査事業費補助金
腸内細菌叢からのアプローチ「ピロリ菌と自閉症スペクトラム症」の相関関係の解明	垣内 俊彦	小児科	390,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者QOLを向上する全国研究	松尾 宗明	小児科	200,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
神経皮膚症候群におけるアンメットニーズを満たす多診療科連携診療体制の確立	松尾 宗明	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
生命維持装置管理患者に対するAIを活用した急変時対応システムの開発と効果の検証	坂口 嘉郎	麻酔科蘇生科	1,040,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
子宮頸部円錐切除後の頸管狭窄を予防する新たな治療法の開発	橋口 真理子	産科婦人科	1,820,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
あたらしい無侵襲の眼底酸素飽和度測定装置の開発と評価	江内田 寛	眼科	910,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
頭頸部癌に対する免疫療法の効果改善のための免疫原性細胞死の研究	山内 盛泰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
大気圧プラズマによる抗腫瘍効果と免疫賦活化を利用した新規口腔がん治療法の開発	山下 佳雄	歯科口腔外科	1,820,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
間葉系幹細胞の細胞・分泌因子を応用した新規口腔がん治療法の開発研究	合島 怜央奈	歯科口腔外科	1,300,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
直接抗ウイルス剤によるウイルス排除後肝癌における免疫微小環境の病理学的研究	相島 慎一	病理診断科	1,170,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金

小計18件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
口腔粘膜切除後の瘢痕拘縮を予防する高密度コラーゲン医療デバイスの開発	青木 茂久	病理診断科	910,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
胆嚢癌におけるCD1a陽性樹状細胞の免疫応答メカニズムと直接相互作用機序の解明	甲斐 敬太	病理診断科	910,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
確率的潜在構造モデリングシステムを用いた「次世代人工知能」による敗血症治療支援	阪本 雄一郎	高度救命救急センター	1,560,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
寝たきり度を用いた院内転倒予測モデルの多様な医療機関での検証と実用化に関する研究	多胡 雅毅	総合診療部	4,030,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
三次元培養モデルを用いた膵癌細胞と脂肪組織の相互作用の解明	芥川 剛至	光学医療診療部	780,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
グルココルチコイド代謝酵素を標的とした疫学的手法による糖尿病の合併症予防戦略	島ノ江 千里	薬剤部	1,170,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
婦人科腫瘍の鑑別におけるMRIのRadiomics解析の有用性の検討	中園 貴彦	放射線部	1,300,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
C型慢性肝疾患に対する抗ウイルス療法を受ける患者のQOLと身体活動量に関する研究	岡田 倫明	卒後臨床研修センター	650,000	補 委	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究	高橋 宏和	肝疾患センター	1,500,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
非ウイルス性を含めた肝疾患のトータルケアに資する人材育成等に関する研究	高橋 宏和	肝疾患センター	3,500,000	補 委	厚生労働行政推進調査事業費補助金
ネットワーク社会における地域の特性に応じた肝疾患診療連携体制構築に資する研究	磯田 広史	肝疾患センター	1,000,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防ストラテジーの確立に資する研究	磯田 広史	肝疾患センター	500,000	補 委	厚生労働行政推進調査事業費補助金
ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究	磯田 広史	肝疾患センター	700,000	補 委	厚生労働行政推進調査事業費補助金

小計13件
合計64件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Maruyama A, Kokuzawa A, Yamauchi Y 他	膠原病・リウマチ内科	Clinical features of elderly-onset Adult-onset Still's disease	Mod Rheumatol, 31(4)862-868, doi: 10.1080/14397595.2020.1829340、202107	Original Article
2	Akahoshi M, Arinobu Y, Kashiwado Y 他	膠原病・リウマチ内科	IgG4-related disease presenting as a paraneoplastic syndrome: report of two cases and literature review	Mod Rheumatol Case Rep, 5(2)371-376, doi: 10.1080/24725625.2021.1896096、202107	Review
3	Sueoka- Aragane N, Nakashima C, Yoshida H 他	呼吸器内科	The role of comprehensive analysis with circulating tumor DNA in advanced non-small cell lung cancer patients considered for osimertinib treatment	Cancer Med, 10(12)3873-3885, doi: 10.1002/cam4.3929、202106	Original Article
4	Takahashi K, Tashiro H, Tajiri R 他	呼吸器内科	Factors Associated with Reduction of Sedentary Time Following Tiotropium/Olodaterol Therapy in Treatment-Naïve Chronic Obstructive Pulmonary Disease	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis, Vol.16,3297-3307, doi: 10.2147/COPD.S338560、202112	Original Article
5	Tashiro H, Takahashi K, Tanaka M 他	呼吸器内科	Skeletal muscle is associated with exercise tolerance evaluated by cardiopulmonary exercise testing in Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease	Sci Rep, 11(1)15862, doi: 10.1038/s41598-021-95413-9、202108	Original Article
6	Tashiro H, Takahashi K, Haraguchi T 他	呼吸器内科	A 45-year-old man with acute chest pain, fever, and dyspnea after tooth extraction	Chest, 160(6)e623-e628, doi: 10.1016/j.chest.2021.07.049、202112	CaseReport
7	Kurihara Y, Tashiro H, Takahashi K 他	呼吸器内科	Clinical Manifestations of Allergic Bronchopulmonary Aspergillosis without Major Features of Asthma Diagnosed by the New Criteria in Japan	Intern Med, 60(8)1251-1255, doi: 10.2169/internalmedicine.6072-20、202104	CaseReport
8	Sadamatsu H, Takahashi K, Tashiro H 他	呼吸器内科	A low body mass index is associated with unsuccessful treatment in patients with Mycobacterium avium complex pulmonary disease	J Clin Med, 10(8)1576, doi: 10.3390/jcm10081576、202104	Original Article
9	M Eriguchi, H Katsuya, K Kidoguchi 他	脳神経内科	Immune dysregulation syndrome with CTLA4 mutation showing multiple central nervous system lesions	Clin Exp Neuroimmunol、202108	CaseReport
10	Itamura H, Shindo T, Muranushi H 他	血液・腫瘍内科	Pharmacological MEK inhibition promotes polyclonal T-cell reconstitution and suppresses xenogeneic GVHD	Cell Immunol, Vol.367, 104410, doi: 10.1016/j.cellimm.2021.104410、202109	Original Article
11	Ureshino H, Kurahashi Y, Watanabe T 他	血液・腫瘍内科	Silylation of deoxynucleotide analog yields an orally available drug with anti-leukemia effects	Mol Cancer Ther, 20(8)1412-1421, doi: 10.1158/1535-7163.MCT-20-1125、202108	Original Article

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
12	Ureshino H, Kamachi K, Nishioka A 他	血液・腫瘍内科	Subsequent attempt tyrosine kinase inhibitor discontinuation in patients with chronic myeloid leukemia; a single institute experience	Hematol Oncol, 39(4)549-557, doi: 10.1002/hon.2896、202110	Original Article
13	Ureshino H	血液・腫瘍内科	Treatment free remission and immunity in chronic myeloid leukemia	Int J Hematol, 113(5)642-647, doi: 10.1007/s12185-021-03117-7、202105	Review
14	Katsuya H, Cook LBM, Rowan AG 他	血液・腫瘍内科	Clonality of HIV-1 and HTLV-1 infected cells in naturally coinfecting individuals.	J Infect Dis, 225 (2) : 317-326、202201	Original Article
15	Fujita M, Ureshino H, Sugihara A 他	血液・腫瘍内科	Immune Thrombocytopenia Exacerbation After COVID-19 Vaccination in a Young Woman	Cureus, 13(9)e17942, doi: 10.7759/cureus.17942、202109	CaseReport
16	Fujita M, Ureshino H, Kimura S	血液・腫瘍内科	Helicobacter cinaedi bacteremia in a patient with primary central nervous system lymphoma	eJHaem, 2(4)875-876, 10.1002/jha2.285、202111	CaseReport
17	Kaneta K, Yokoi K, Jojima K 他	循環器内科	Young Male With Myocarditis Following mRNA-1273 Vaccination Against Coronavirus Disease-2019 (COVID-19).	Circ J. 2022 Mar 25;86(4):721. doi: 10.1253/circj.CJ-21-0818.、202203	CaseReport
18	Natsuaki M, Node K	循環器内科	Is It Time to Shift the Monotherapy After Percutaneous Coronary Intervention From Aspirin to P2Y(12) Inhibitors? - New Normal in the New-Generation Era	Circ J, 85(6)794-796, doi: 10.1253/circj.CJ-21-0026、202105	Original Article
19	Yamaguchi T, Otsubo T, Takahashi Y 他	循環器内科	Atrial Structural Remodeling in Patients With Atrial Fibrillation Is a Diffuse Fibrotic Process: Evidence From High-Density Voltage Mapping and Atrial Biopsy.	2022 Mar 15;11(6):e024521. doi:10.1161/JAHA.121.024521.、202203	Original Article
20	Yoshioka G, Tanaka A, Nishihira K 他	循環器内科	Prognostic impact of follow-up serum albumin after acute myocardial infarction	ESC Heart Fail, 8(6)5456-5465, doi: 10.1002/ehf2.13640、202112	Original Article
21	Yoshioka G, Natsuaki M, Goriki Y 他	循環器内科	Serum Albumin and Bleeding Events After Percutaneous Coronary Intervention in Patients With Acute Myocardial Infarction (from the HAGAKURE-ACS Registry).	Am J Cardiol. 2022 Feb 15;165:19-26. doi: 10.1016/j.amjcard.2021.10.043.、202202	Original Article
22	Tanaka A, Shimabukuro M, Teragawa H 他	循環器内科	Reduction of estimated fluid volumes following initiation of empagliflozin in patients with type 2 diabetes and cardiovascular disease: a secondary analysis of the placebo-controlled, randomized EMBLEM trial	Cardiovasc Diabetol, 20(1)105, doi: 10.1186/s12933-021-01295-6、202106	Original Article
23	Tanaka A, Shimabukuro M, Teragawa H 他	循環器内科	Comparison of the clinical effect of empagliflozin on glycemic and non-glycemic parameters in Japanese patients with type 2 diabetes and cardiovascular disease treated with or without baseline metformin	Cardiovasc Diabetol, 20(1)160, doi: 10.1186/s12933-021-01352-0、202107	Original Article

小計12件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
24	Tanaka A, Toyoda S, Imai T 他	循環器内科	Effect of canagliflozin on N-terminal pro-brain natriuretic peptide in patients with type 2 diabetes and chronic heart failure according to baseline use of glucose-lowering agents	Cardiovasc Diabetol, 20(1)175, doi: 10.1186/s12933-021-01369-5、202109	Original Article
25	Tanaka A, Node K	循環器内科	In-hospital therapy for worsening heart failure: black box or sweet spot?	ESC Heart Fail, 8(3)2357-2358, doi: 10.1002/ehf2.13307、202106	Original Article
26	Tanaka A, Node K	循環器内科	Natriuretic Peptide-Based Risk Prediction and Assessment of Treatment Effect: Revisited in This Era	JACC Heart Fail, 9(12)941-942, doi: 10.1016/j.jchf.2021.09.009、202112	Original Article
27	Tanaka A, Node K	循環器内科	Hypertension in diabetes care: emerging roles of recent hypoglycemic agents	Hypertens Res, 44(8)897-905, doi: 10.1038/s41440-021-00665-7、202108	Review
28	Tanaka A, Node K	循環器内科	What Is Behind the HbA1c Value?	J Am Coll Cardiol, 78(15)e117, doi: 10.1016/j.jacc.2021.06.054、202110	Letter
29	Tanaka A, Node K	循環器内科	Low HbA(1c) Level and High Mortality: A Reversal of Cause and Effect?	JACC Cardiovasc Interv . 2021 May 24;14(10):1158-1159. doi: 10.1016/j.jcin.2021.03.006.、202105	Letter
30	Tanaka A, Node K	循環器内科	Call for Fine Remote Monitoring of Prognostic Signs and Symptoms in Heart Failure	JACC Heart Fail, 9(7)530, doi: 10.1016/j.jchf.2021.04.006、202107	Letter
31	Tanaka A, Node K	循環器内科	Fluid volume regulation in patients with heart failure	Lancet Diabetes Endocrinol, 9(5)256-257, doi: 10.1016/S2213-8587(21)00082-6、202105	Letter
32	Tanaka A, Node K.	循環器内科	Better vascular function tests in cardiovascular care: learning from evidence and providing improved diagnostics to the patient.	Hypertens Res. 2022 Mar;45(3):538-540. doi:10.1038/s41440-021-00841-9.、202203	Letter
33	Eriko Nonaka, Tsuyoshi Takashima, Keiichirou Matsumoto 他	腎臓内科	Warfarin-related nephropathy: A case report of a delayed renal function improvement	Clin Case Rep, 9(5)e04105, doi: 10.1002/ccr3.4105、202105	CaseReport
34	Fukuda M, Mizuno H, Hiramatsu R 他	腎臓内科	A case of thrombotic microangiopathy associated with polymyositis	Clin Nephrol, 95(6)339-344, doi: 10.5414/CN109989、202106	CaseReport
35	Takashima T, Mizuta M, Ikeda Y 他	腎臓内科	Do you recommend tonsillectomy for elderly patients with IgA nephropathy?	Clin Exp Nephrol, 25(7)804-806, doi: 10.1007/s10157-021-02043-6、202107	CaseReport

小計12件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
36	Takashima T, Nakashima Y, Suenaga A 他	腎臓内科	Brachio-brachial arteriovenous fistula combined with superficialization of the brachial artery using a short skin incision for hemodialysis	J Vasc Access, 22(3)462-469, doi: 10.1177/1129729820944081、202105	CaseReport
37	Esaki M	消化器内科	Endoscopic delivery: A solution for ca@sule endoscopy in patients with swallowing disorders, difficulties, or impaired gastrointestinal motility	Dig Endosc 34(3):472-3, 202203	Others
38	Kimura S, Tanaka K, Oeda S 他	肝臓・糖尿病・内分泌内科	Effect of skin-capsular distance on controlled attenuation parameter for diagnosing liver steatosis in patients with nonalcoholic fatty liver disease	Sci Rep, 11(1)15641, doi: 10.1038/s41598-021-94970-3, 202108	Original Article
39	Nagafuchi S	肝臓・糖尿病・内分泌内科	Regulation of Viral Infection in Diabetes	Biology (Basel), 10(6)529, doi: 10.3390/biology10060529, 202106	Original Article
40	Keiichiro Mine, Seiho Nagafuchi, Hitoe Mori 他	肝臓・糖尿病・内分泌内科	SARS-CoV-2 Infection and Pancreatic β Cell Failure	Biology (Basel), 11(1)22, doi: 10.3390/biology11010022, 202112	Original Article
41	Kazunari Sugita, Ayano Ikeda, Ryoko Kimura 他	皮膚科	Novel Ultrastructural Findings of Blastic Plasmacytoid Dendritic Cell Neoplasm	Indian J Dermatol, 66(2)195-196, doi: 10.4103/ijd.IJD_57_20, 202104	CaseReport
42	Kazunari Sugita, Ayako Ito, Osamu Yamamoto	皮膚科	Mycosis Fungoides Associated with Pseudoepitheliomatous Hyperplasia	Indian J Dermatol, 66(2)227, doi: 10.4103/ijd.IJD_731_18、202104	CaseReport
43	Tatsuya Manabe, Yusu ke Mizuuchi, Yas uhiro Tsuru 他	一般・消化器外科	Retrospective analysis of risk factors for postoperative perineal hernia after endoscopic abdominoperineal excision for rectal cancer	Manabe et al. BMC Surgery (2022) 22:88 https://doi.org/10.1186/s12893-022-01538-7, 202203	Review
44	Kotaro Ito , Yoshihiko Kitajima , Keita Kai 他	一般・消化器外科	Matrix metalloproteinase-1 expression is regulated by HIF-1-dependent and epigenetic mechanisms and serves a tumor-suppressive role in gastric cancer progression	Int J Oncol, 59(6)102, doi: 10.3892/ijo.2021.5282, 202112	Original Article
45	Noriyuki Egawa , Tomokazu Tanaka , Shohei Matsufuji 他	一般・消化器外科	Antitumor effects of low-dose tipifarnib on the mTOR signaling pathway and reactive oxygen species production in HIF-1 α -expressing gastric cancer cells	FEBS Open Bio, 11(5)1465-1475, doi: 10.1002/2211-5463.13154, 202105	Original Article
46	Baku Takahashi, Motonori Uchino, Yuki Takeuchi 他	心臓血管外科	Acute type A aortic dissection with a tear in the posterior wall of the ascending aorta early after off-pump coronary artery bypass grafting	Gen Thorac Cardiovasc Surg 69(5)870-873, 10.1007/s11748-020-01547-4、202105	CaseReport
47	Junji Yunoki, Keiji Kamohara, Shugo Koga 他	心臓血管外科	Early results of expanding the anatomical indications for using a Gore Iliac branch endoprosthesis to treat aortoiliac and iliac aneurysms	Surg Today 51(6)1028-1035, doi: 10.1007/s00595-020-02183-4, 202106	Original Article

小計12件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
48	Yoshioka F, Shimokawa S, Masuoka J 他	脳神経外科	Elimination of the check-valve mechanism of the sacral Tarlov cyst using a rotation flap technique in a pediatric patient: technical note	Childs Nerv Syst, 37(5)1741-1745, doi: 10.1007/s00381-020-05029-z, 202105	CaseReport
49	Inoue K, Momozaki A, Furukawa T 他	脳神経外科	Case of de novo cerebral microbleeds in ischemic-type pediatric moyamoya disease	Surg Neurol Int, Vol.12, 284, doi: 10.25259/SNI_305_2021, 202106	CaseReport
50	Sonohata M, Eriguchi M, Ogata A 他	整形外科	Paradoxical brain embolism due to a popliteal venous aneurysm after minor orthopedic surgery in a 19-year-old man with patent foramen ovale: A case report	J Orthop Sci, 26(4)714-718, doi: 10.1016/j.jos.2018.09.019, 202107	CaseReport
51	Morimoto T, Kobayashi T, Hirata H 他	整形外科	XR (Extended Reality: Virtual Reality, Augmented Reality, Mixed Reality) Technology in Spine Medicine: Status Quo and Quo Vadis	J Clin Med. 2022 Jan 17;11(2):470. doi: 10.3390/jcm11020470., 202201	Review
52	Morimoto T, Yoshihara T, Kobayashi T 他	整形外科	Letter to the Editor concerning "Novel augmentation technique of percutaneous pedicle screw fixation using hydroxyapatite granules in the osteoporotic lumbar spine: a cadaveric biomechanical analysis"	Eur Spine J. 2022 Jan;31(1):210-211, 202201	Letter
53	Ueno M, Zhang N, Hirata H 他	整形外科	Sex Differences in Mesenchymal Stem Cell Therapy With Gelatin-Based Microribbon Hydrogels in a Murine Long Bone Critical-Size Defect Model	Front Bioeng Biotechnol, Vol.9, 755964, doi: 10.3389/fbioe.2021.755964, 202110	Original Article
54	Shohei Tobu, Kazuma Udo, Kiyooki Nishihara 他	泌尿器科	Surveillance of urachal abscess in the Kyushu-Okinawa area of Japan	Int J Urol, 28(10)1008-1011, doi: 10.1111/iju.14637, 202110	Original Article
55	Kei Nagase, Takashi Akutagawa, Mihoko Rikitake- Yamamoto 他	泌尿器科	Cellular and physical microenvironments regulate the aggressiveness and sunitinib chemosensitivity of clear cell renal cell carcinoma	J Pathol .254(1):46-56, 202105	Original Article
56	Maki Kawasaki, Kei Nagase, Shigehisa Aoki 他	泌尿器科	Bystander effects induced by the interaction between urothelial cancer cells and irradiated adipose tissue-derived stromal cells in urothelial carcinoma	Human Cell(2022)35:613-627 DOI: 10.1007/s13577-022-00668-7 IF 4.174(2021), 202201	Original Article
57	Uemura, Hidetaka Watanabe, Tetsu Yanai 他	形成外科	A Minimally Invasive Full Endoscopic Approach to Tibial Nerve Neurolysis in Diabetic Foot Neuropathy: An Alternative to Open Procedures	Plast Reconstr Surg, 148(3)592-596, 10.1097/PRS.00000000000008299, 202109	Original Article
58	Egashira R	放射線科	High-Resolution CT Findings of Myositis-Related Interstitial Lung Disease	Medicina (Kaunas), 57(7)692, doi: 10.3390/medicina57070692, 202107	Review
59	Yamaguchi K, Hara Y, Kitano I 他	放射線科	Relationship between MRI findings and invasive breast cancer with podoplanin-positive cancer-associated fibroblasts	Breast Cancer, 28(3)572-580, doi: 10.1007/s12282-020-01198-6, 202105	Original Article

小計12件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
60	Tateishi H, Setoyama D, Kang D 他	精神神経科	The changes in kynurenine metabolites induced by rTMS in treatment-resistant depression: A pilot study	J Psychiatr Res, Vol.138, 194-199, doi: 10.1016/j.jpsychires.2021.04.009、202106	Original Article
61	Hiroshi Tateishi, Yoshito Mizoguchi, Akira Monji	精神神経科	Is the Therapeutic Mechanism of Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation in Cognitive Dysfunctions of Depression Related to the Neuroinflammatory Processes in Depression?	Front Psychiatry. 2022 Feb 24;13:834425.doi: 10.3389/fpsyt.2022.834425. eCollection 2022.、202202	Review
62	Mizoguchi Y, Ohgidani M, Haraguchi Y 他	精神神経科	ProBDNF induces sustained elevation of intracellular Ca ²⁺ possibly mediated by TRPM7 channels in rodent microglial cells	Glia, 69(7)1694-1708, doi: 10.1002/glia.23996、202107	Original Article
63	Monji A, Mizoguchi Y	精神神経科	Neuroinflammation in Late-Onset Schizophrenia: Viewing from the Standpoint of the Microglia Hypothesis	Neuropsychobiology, doi: 10.1159/000517861、202108	Review
64	Ichinose F , Nakamura T, Kira R 他	小児科	Incidence and risk factors of acute encephalopathy with biphasic seizures in febrile status epilepticus	Brain Dev 44: 36-43.、202201	Original Article
65	Kakiuchi T, Matsuo M, Endo H 他	小児科	Gastrointestinal adverse reactions reduce the success rate of Helicobacter pylori eradication therapy: A multicenter prospective cohort study	Helicobacter, 26(2)e12776, doi: 10.1111/hel.12776、202104	Original Article
66	Kakiuchi T, Miyata I, Kimura R 他	小児科	Clinical evaluation of a novel point-of-care assay to detect Mycoplasma pneumoniae and associated macrolide resistant mutations	J Clin Microbiol, 59(7)e0324520, doi: 10.1128/JCM.03245-20、202106	Original Article
67	Kakiuchi T, Tanaka Y, Ohno H 他	小児科	Helicobacter pylori infection-induced changes in the intestinal microbiota of 14 or 15-year-old Japanese adolescents: A cross-sectional study	BMJ Open, 11(7)e047941, doi: 10.1136/bmjopen-2020-047941、202107	Original Article
68	Kakiuchi T, Takamori A and Matsuo M	小児科	High prevalence of Helicobacter pylori infection in special needs schools in Japan	Front Pediatr, Vol.9, 697200, doi: 10.3389/fped.2021.697200、202107	Original Article
69	Kakiuchi T, Nakayama A, Matsuo M	小児科	Acute liver failure due to disseminated juvenile xanthogranuloma	Indian J Pediatr, 88(8)841-842, doi: 10.1007/s12098-020-03389-7、202108	CaseReport
70	Kakiuchi T, Koji A	小児科	Imperforate hymen due to vaginal hypoplasia presenting as an acute abdomen in adolescent	Clin Case Rep, 9(7)e04450, doi: 10.1002/ccr3.4450、202107	CaseReport
71	Kakiuchi T, Kimura S, Esaki M 他	小児科	Infusion-related reactions to intravenous infliximab and subcutaneous ustekinumab in pediatric Crohn's disease	Front Pediatr, Vol.9, 670703, doi: 10.3389/fped.2021.670703、202112	CaseReport

小計12件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
72	Kakiuchi T, Fukuta A, Yoshimaru K 他	小児科	Stercoral ulcer after Hirschsprung's disease surgery	Clin Case Rep, 9(12)e05239, doi: 10.1002/ccr3.5239, 202112	CaseReport
73	Kakiuchi T, Eguchi K, Koga D 他	小児科	Changes in bone marrow and peripheral blood lymphocyte subset findings with onset of hepatitis-associated aplastic anemia	Medicine (Baltimore) 25;101(8):e28953. doi: 10.1097/MD.00000000000028953., 202202	CaseReport
74	Kakiuchi T, Yoshiura M	小児科	Japanese pediatric patient with moderately active ulcerative colitis successfully treated with ustekinumab	Medicine (Baltimore) 18;101(7):e28873., 202202	CaseReport
75	Kakiuchi T, Koji A, Yoshiura M	小児科	Need for liver biopsy in pediatric nonalcoholic steatohepatitis diagnosis regardless of improvement in liver damage through weight loss	Wilry 26;10(3):e05652. doi: 10.1002/ccr3.5652. eCollection, 202203	CaseReport
76	Doi H, Muneuchi J, Watanabe M 他	小児科	Characteristics of the pulmonary circulation in infants with complete atrioventricular septal defect	Cardiol Young, 31(4)556-561, doi: 10.1017/S1047951120004424, 202104	Original Article
77	Hashiguchi M, Takezawa T, Nagase K 他	産科婦人科	Collagen Vitrigel Membrane-Coated Nylon Line Prevents Stenosis After Conization of the Cervix Uteri	Tissue Eng Part A, 27(23-24)1480-1489, 202112	Original Article
78	Mori K, Uchino K, Komukai S 他	歯科口腔外科	Clinical evaluation of steroid ointment for the treatment of mucocoeles	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol, 132(3)307-311, doi: 10.1016/j.o000.2021.04.054, 202109	Original Article
79	Kai K, Hashiguchi M, Kurihara M 他	病理診断科	Cytological Appearances of Ovarian Seromucinous Borderline Tumor in Ascites: Presentation of 2 Cases	Acta Cytol, 65(5)440-447, doi: 10.1159/000517313, 202107	CaseReport
80	Hanashima K, Akutagawa T, Yamamoto-Rikitake M 他	病理診断科	Tissue-specific Physical and Biological Microenvironments Modulate the Behavior of Cervical Squamous Cell Carcinoma	Acta Histochem Cytochem, 54(5)155-165, doi: 10.1267/ahc.21-00038, 202110	Original Article
81	Shichijo C, Kai K, Jinnouchi K 他	病理診断科	Intracranial Mönckeberg's Atherosclerosis Is Frequently Found in Autopsy Cases of Advanced Stage Malignancy with Cerebral Infarction	Cancers (Basel), 13(20)5234, doi: 10.3390/cancers13205234, 202110	Original Article
82	Minesaki A, Kai K, Kuratomi Y 他	病理診断科	Infiltration of CD1a-positive dendritic cells in advanced laryngeal cancer correlates with unfavorable outcomes post-laryngectomy	BMC Cancer, 21(1)973, doi: 10.1186/s12885-021-08715-6, 202108	Original Article
83	Oho M, Nagasawa Z, Funashima Y 他	検査部	Correlation of Strain Classification with IR Biotyper and Molecular Epidemiological Method of Pseudomonas aeruginosa	Rinsho Biseibutshu Jinsoku Shindan Kenkyukai Shi, 31(1)29-40, 202112	Original Article

小計12件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
84	Umino A, Kubota Y, Honda- Yoshigai M 他	検査部	Monitoring of tumor cells by flow cytometry permits rapid evaluation of disease progression in monomorphic epitheliotropic intestinal T-cell lymphoma	Cytometry B Clin Cytom, 100(4)454-456, doi: 10.1002/cyto.b.21977, 202107	CaseReport
85	Ayaka Matsuoka, Toru Miike, Mariko Miyazaki 他	高度救命救急センター	Development of a delirium predictive model for adult trauma patients in an emergency and critical care center: a retrospective study	Trauma Surg Acute Care Open, 6(1)e000827, doi: 10.1136/tsaco-2021-000827, 202111	Original Article
86	Toru Miike, Yuichiro Sakamoto, Shougo Narumi 他	高度救命救急センター	Influence of high-dose antithrombin on platelet function and blood coagulation	Acute Med Surg, 8(1):e648, doi: 10.1002/ams2.648, 202105	Original Article
87	Tago M, Anzai K, Yamashita SI	総合診療部	A new Japanese origami-style face shield made of waterproof paper and a transparent plastic sheet for use during the COVID-19 pandemic	QJM, Vol.114, No.4, 284-285, doi: 10.1093/qjmed/hcaa277, 202107	Original Article
88	Tago M, Watari T, Shikino K 他	総合診療部	Five tips on clinical research for young Japanese generalists	J Hosp Gen Med, Vol.3, No.3: 108-110, 202105	Original Article
89	Tago M, Watari T, Shikino K 他	総合診療部	Research trends of general hospitalists in Japan: a cross-sectional questionnaire-based personal survey	J Hosp Gen Med, Vol.3, No.6, 225-227, 202111	Original Article
90	Tago M, Watari T, Shikino K 他	総合診療部	Five Tips for Becoming an Ideal General Hospitalist	Int J Gen Med, Vol.14,10417-10421, doi: 10.2147/IJGM.S341050, 202112	Original Article
91	Tago M, Aihara H, Fujiwara M 他	総合診療部	Congenital costal fusion can be misinterpreted as lesions on chest X-ray	BMJ Case Rep, Vol.14, No.6, e242834, 10.1136/bcr-2021-242834, 202106	CaseReport
92	Tago M, Fujiwara M, Tokushima Y 他	総合診療部	May-Thurner syndrome: A cause of unexplained unilateral leg edema	Clin Case Rep, Vo.9, No.6, e04315, doi: 10.1002/ccr3.4315, 202106	CaseReport
93	Tago M, Nishi T	総合診療部	Segmental herpes zoster abdominal paralysis: Unilateral abdominal bulge that enlarged in size with abdominal pressure	J Hosp Gen Med, Vol.3, No.4, 162-163, 202107	CaseReport
94	Tago M, Oishi T, Makio S 他	総合診療部	Tongue Necrosis: An Atypical Sign of Giant-cell Arteritis	Internal Med, Vol.60, No.20, 3347-3348, doi: 10.2169/internalmedicine.7096-21, 202110	CaseReport
95	Tago M, Fujiwara M, Nakashima T 他	総合診療部	Massive splenomegaly requiring differential diagnosis of hematologic malignancies	Clin Case Rep, 10(3): e05512, 202203	CaseReport

小計12件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
96	Tago M, Watari T, Shikino K 他	総合診療部	A survey of the research practice in general medicine departments of Japanese universities: a cross-sectional study	J Gen Fam Med, 23(1): 56-60, 202201	Others
97	Yamashita S, Tago M, Motomura S 他	総合診療部	Development of a Clinical Prediction Model for Infective Endocarditis Among Patients with Undiagnosed Fever: A Pilot Case-Control Study	Int J Gen Med, Vol.14,4443-4451, doi: 10.2147/IJGM.S324166、202108	Original Article
98	Yamashita S, Tago M, Yamashita SI	総合診療部	Haemichorea-haemiballism associated with poorly controlled type 2 diabetes mellitus (a video demonstration)	BMJ Case Rep, Vol.14, No.4: e242949, 10.1136/bcr-2021-242949、202104	CaseReport
99	Hirata R, Fujiwara M, Aihara H 他	総合診療部	Intravascular large B-cell lymphoma with endocrine disorder of the hypothalamus-pituitary axis required repeat random skin biopsy for diagnosis	J Hosp Gen Med, Vol.3, No.4, 129-135、202107	CaseReport
100	Hirata R, Tago M, Hisata Y 他	総合診療部	Vulvar Paget's Disease Presenting with Fever and Left Inguinal and Peritoneal Lymphadenopathies	Am J Case Rep, Vol.22, e931600, 10.12659/AJCR.931600、202108	CaseReport
101	Hirata R, Tago M, Tokushima Y	総合診療部	Diffuse large B-cell lymphoma initially presenting with peritoneal dissemination	Clin Case Rep, Vol.9, No.12, e05191, doi: 10.1002/ccr3.5191、202112	CaseReport
102	Motomura S, Yamashita S, Tago M 他	総合診療部	Avoiding invasive surgical procedures for a slow-growing asymptomatic huge anterior mediastinal lipoma under watchful waiting	Clin Case Rep, Vol.9, No.12, e05190, doi: 10.1002/ccr3.5190、202112	CaseReport
103	Tokushima Y, Tago M, Tokushima M 他	総合診療部	Invasive pneumococcal disease: a diagnostic challenge due to multiple portals of causative bacteria	BMJ Case Rep, Vol.14, No.5, e242429, 10.1136/bcr-2021-242429、202105	CaseReport
104	Toshiharu Urakami, Yohei Hamada, Yusuke Oka 他	感染制御部	Is trimethoprim/sulfamethoxazole-associated increase in serum creatinine a pseudo-elevation or true nephrotoxicity?	J Infect Chemother, 27(8)1193-1197, doi: 10.1016/j.jiac.2021.03.015、202108	Original Article
105	Kikkawa N, Sogawa R, Monji A 他	薬剤部	Delirium risk of histamine-2 receptor antagonists and proton pump inhibitors: A study based on the adverse drug event reporting database in Japan	Gen Hosp Psychiatry, Vol.72,88-91, doi: 10.1016/j.genhosppsych.2021.07.010、202108	Original Article
106	Kimura S, Hosoya K, Ogata K 他	薬剤部	Severity of constipation related to palonosetron during first-line chemotherapy: a retrospective observational study	Support Care Cancer, 29(8)4723-4732, doi: 10.1007/s00520-021-06023-0、202108	Original Article
107	Sogawa R, Tobita S, Monji A 他	薬剤部	Deep Vein Thrombosis after Lithium Toxicity: A Report of Two Cases and Literature Review	Case Rep Psychiatry, Vol.2021, 9934037, doi: 10.1155/2021/9934037、202106	CaseReport

小計12件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
108	Hiroshi Isoda, Yuichiro Eguchi, Hirokazu Takahashi	肝疾患センター	Hepatitis medical care coordinators: Comprehensive and seamless support for patients with hepatitis	Glob Health Med, 3(5)343-350, doi: 10.35772/ghm.2021.01073、202110	Review
109	Yuichiro Eguchi, Hiroshi Isoda, Hirokazu Takahashi	肝疾患センター	Regional Program to Reduce Liver Cancer Associated With Viral Hepatitis B: Comprehensive Approach Corroborating With the Media and Regional Government to Improve Population Screening Rate in Saga Prefecture	Clin Liver Dis (Hoboken), 17(4)309-311, doi: 10.1002/cld.1037、202105	Review
110	Takahashi H, Kessoku T, Kawanaka M 他	肝疾患センター	Ipragliflozin Improves the Hepatic Outcomes of Patients With Diabetes with NAFLD	Hepatol Commun, 6(1)120-132、202201	Original Article
111	Yokoi K, Mizote I, Shiraki T 他	老年循環器病学講座	Differences in routes of guiding catheters for left coronary artery according to access sites assessed by the combined angiography-computed tomography system	Cardiovasc Interv Ther, 36(3)298-306, 10.1007/s12928-020-00681-3、202107	Original Article
112	Yokoi K, Sonoda S, Yoshioka G 他	老年循環器病学講座	Proximal Optimization Technique Facilitates Wire Entry Into Stumpless Chronic Total Occlusion of Side Branch	JACC Cardiovasc Interv, 14(17)e231-e233, 10.1016/j.jcin.2021.07.019、202109	CaseReport

小計5件
合計112件

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 臨床研究に係る業務、重篤な有害事象及び不具合等に対して研究者等が実施すべき事項 に関する事 等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 利益相反の管理について、利益相反の手続きについて 等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 臨床研究法、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に関する事 等	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

膠原病等指定難病の診断と治療に関する研修 神経内科診療に関する勉強会 脳波勉強会 筋電図講習会 頸部血管超音波検査講習 等 計87件
--

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	444人
-------------	------

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
多田 芳史	膠原病・リウマチ内科	診療科長	37年	
原 英夫	脳神経内科	診療科長	39年	
荒金 尚子	呼吸器内科	診療科長	35年	
木村 晋也	血液・腫瘍内科	診療科長	36年	
野出 孝一	循環器内科	診療科長	34年	
宮園 素明	腎臓内科	診療科長	29年	
江崎 幹宏	消化器内科	診療科長	30年	
安西 慶三	肝臓・糖尿病・内分泌内科	診療科長	36年	
杉田 和成	皮膚科	診療科長	18年	
能城 浩和	一般・消化器外科	診療科長	37年	
平塚 昌文	呼吸器外科	診療科長	32年	
蒲原 啓司	心臓血管外科	診療科長	28年	
阿部 竜也	脳神経外科	診療科長	32年	
馬渡 正明	整形外科	診療科長	39年	
野口 満	泌尿器科	診療科長	35年	
上村 哲司	形成外科	診療科長	35年	
松尾 宗明	小児科	診療科長	37年	
横山 正俊	産科婦人科	診療科長	38年	
江内田 寛	眼科	診療科長	28年	
倉富 勇一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	40年	
平川 奈緒美	ペインクリニック・緩和ケア科	診療科長	38年	
入江 裕之	放射線科	診療科長	36年	

浅見 豊子	リハビリテーション科	診療科長	38年
坂口 嘉郎	麻酔科蘇生科	診療科長	35年
門司 晃	精神神経科	診療科長	37年
山下 佳雄	歯科口腔外科	診療科長	30年
阪本 雄一郎	高度救命救急センター	センター長	29年
相島 慎一	病理診断科	診療科長	26年
青木 洋介	感染制御部	部長	38年
山下 秀一	総合診療部	部長	38年

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護師の特定行為研修（術中麻酔領域パッケージ）・研修の期間・実施回数 R 2 . 1 0 . 1 ～ R 3 . 9 . 3 0・研修の参加人数 2 名
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 野口 満	
管理担当者氏名	診療記録センター長 安西慶三、看護部長 藤満幸子、薬剤部長 島ノ江千里、放射線部長 入江裕之、総務課長 北島博文、医事課長 内藤浩幸	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	経営管理課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	診療記録センター
		看護記録	診療記録センター
		検査所見記録	診療記録センター
		エックス線写真	放射線部
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療記録センター
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療安全管理室
		高度の医療の研修の実績	総務課、医事課
		閲覧実績	—
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営管理課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室

平成16年度に電子カルテを導入し、それ以前の診療記録は、1患者1ファイルで診療記録センターにて集中管理している。保存期間は20年間とし、診療記録の院外持出は、診療記録管理及び利用に関する規程により禁止している。エックス線写真は、放射線部において集中管理している。

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
	第四号	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
	第五号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	第六号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	第七号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	第八号	医療機器安全管理責任者の配置状況	MEセンター	
	第九号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター	
	第十号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター	
		第十一号	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEセンター

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療記録センター
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療記録センター
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部 MEセンター
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務部総務課
		職員研修の実施状況	医療安全管理室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医療安全管理室 薬剤部 MEセンター
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 北島 博文	
閲覧担当者氏名	医事課長 内藤 浩幸	
閲覧の求めに応じる場所	医療相談室	
閲覧の手続の概要 佐賀大学総務部総務課において、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きが可能となっている。		

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 第 1 本院における医療安全管理に関する基本的考え方 第 2 医療安全管理委員会その他本院内の組織に関する基本的事項 第 3 従業者に対する医療に係る安全管理のための研修に関する基本方針 第 4 本院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 第 5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針（医療安全管理委員会に報告すべき事例の範囲、報告手順を含む。） 第 6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する当指針の閲覧に関する基本方針を含む。） 第 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 第 8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ） ・ 開催状況：年 1 2 回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> （ 1 ） 医療事故に係る情報の収集及び提供に関すること。 （ 2 ） 発生した医療事故の原因分析及び改善策等に関すること。 （ 3 ） 改善策の実施状況の調査及び当該策の見直しに関すること。 （ 4 ） 医療事故防止のための教育・研修に関すること。 （ 5 ） その他医療安全管理に関し必要な事項 	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> <第 1 回テーマ> <ul style="list-style-type: none"> 「輸血過誤を防ぐための注意点」 「採血手技と検査値」 「診療放射線の患者被ばくに係る取り組みについて」 「MRI 検査室入室前の注意事項」 「当院の静脈血栓塞栓症 院内フロー改訂のポイント」 <第 2 回テーマ> <ul style="list-style-type: none"> 「患者誤認防止・身体抑制」 「投与中の経過観察を特に要する薬剤とアナフィラキシーショック時の対応」 「弾性ストッキングによる医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）に対する予防ケア」 「当院における原子力災害拠点病院としての取り組み」 <第 3 回テーマ> <ul style="list-style-type: none"> 「RRS 院内迅速対応システム」 「院内暴力等に対する対応について」 「医療用ガス設備について」 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 【問題点の把握】 <p>医療安全管理室で、各部署からのインシデント・アクシデント速報システムによる報告事例を全て収集している。</p> 【問題点の分析】 <p>GRMが、収集事例の影響度を分類しサマリ化し、サマリ化した全事例を、定例の医療安全管理室会議にて分析する。</p> 【改善策の検討】 <ul style="list-style-type: none"> （1）事象が発生した診療科や部署と、医療安全管理室で対応策を検討する。 （2）定例の医療安全管理室会議で、事例の共有、分析、対応策の検討を行う。 （3）必要時は、臨時で関連診療科や部門によるカンファレンスを開催し、事例の共有、分析、対応策の検討を行う。 （4）医療安全管理委員会において審議する。 【改善事例】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤確認に関するフロー図作成 ・ アナフィラキシー対策（投与後の観察が必要な薬剤の設定とその観察記録について） ・ 救急カートの運用基準（救急カートの点検方法の変更） 	

- ・リストバンドに関する運用
- ・同姓同名患者の誤認防止
- ・口頭指示受け用紙の改訂
- ・投薬に関する指示受けから実施までの手順（薬剤確認からミキシングまで1施用1トレイの運用）
- ・行動制限に関する基準
- ・入院患者の無断離院に関する対応
- ・院内で発生する児の連れ去りに関する対応
- ・病室内監視モニター使用に関する注意事項
- ・ピクトグラムの作成
- ・Good Job賞の設立（未然に防ぐことができた事例への賞）
- ・入院拒否に関する同意書の作成

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>第1 本院における院内感染対策に関する基本的考え方</p> <p>第2 院内感染対策のための委員会その他本院内の組織に関する基本的事項</p> <p>第3 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>第4 感染症の発生状況の報告に対する基本的対応方針</p> <p>第5 院内感染発生時の対応に関する基本方針</p> <p>第6 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</p> <p>第7 その他の本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染の予防に関すること。</p> <p>(2) 院内感染予防に係る情報の収集に関すること。</p> <p>(3) 院内感染源及び感染経路の調査に関すること。</p> <p>(4) 院内感染予防対策の確立に関すること。</p> <p>(5) 感染制御部の運営に関すること。</p> <p>(6) その他感染予防及び対策に関すること。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p><第1回テーマ> 「コロナ禍をストレスなく過ごすために」 「必読・抗微生物薬適正使用の手引き」</p> <p><第2回テーマ> 「ワクチン後のコロナ対策」 「アンピリン/スルバクタムを院内肺炎で使おうと思ったときに考えていただきたいこと」 「もしも風邪の患者から抗菌薬の処方を求められたら」</p> <p><第3回テーマ> 「佐賀市ならびに佐賀県主催の新型コロナワクチンの集団接種への当院からの支援につきまして」 「尿路感染症とESBL産生菌の感染対策」 「これだけ！内服抗菌薬」</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染症法で届出が必要な場合は、主治医が報告書に記載し、診療科感染対策医、看護師長の</p>	

確認のもと提出する。

新規発生MRSAやその他耐性菌については、感染制御部が各部署へ訪問し、治療及び感染対策の確認を行っている。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年21回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全職員対象</p> <p>「医療安全・院内感染対策研修会」投与中の経過観察を特に要する薬剤とアナフィラキシーショック時の対応</p> <p>医師対象</p> <p>院内における医薬品の適正使用</p> <p>看護師対象</p> <p>安全な与薬をするための薬剤の知識／輸液・シリンジポンプを使用する薬剤について／「薬」に関するイエローカードを用いた院内における医薬品の適正使用／新規抗がん剤の説明／肺癌領域における内服抗癌剤の概要と副作用／精神科で使用される薬剤について／散剤の経管投与について／重症症例での栄養管理</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>手順書に基づく業務の実施状況の確認として、各部門に対する医療安全スタッフで巡視を行っており、病棟等については下記を確認している。</p> <p>確認内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定数医薬品保管証の薬品以外に余剰の薬品を置かない。 ・ 麻薬、向精神薬の保管状況・医薬品の保管場所の表示 ・ 冷所保存の医薬品が整理整頓・指示受けの方法 ・ 薬剤投与の際の二人チェックや準備での2度以上の薬剤確認等 ・ 薬剤部内では上記巡視に加え、全薬剤師を対象に手順書の記載内容の遵守状況を薬剤師相互にチェックしている。 	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)

・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :

カリウム注射の高濃度投与について

・ その他の改善のための方策の主な内容 :

調剤時の処方鑑査、病棟薬剤師による医薬品の使用状況等の確認および医師からの相談等で未承認等の医薬品の使用の情報を収集し、医療安全管理室専従薬剤師と評価し、定期的に医薬品安全管理責任者に報告し、必要に応じて院内の各種委員会で報告・検討している。また、医療安全管理室と協働して調剤上の疑義照会や病棟薬剤師からのプリアボイド報告などの事例や、各科に共通する重要な事例を選択して作成した「薬に関するイエローカード」を関連する診療科長に毎月配布し情報の共有化を図っている。

厚生労働省のHP、PMDAのHP、PMDAメーリングリスト登録による最新の医薬品情報、医薬品・医療機器等安全性情報(厚生労働省発行)、Drug Safety Update(医薬品安全対策情報)、日本医療機能評価機構HPの医療事故情報収集等事業からの「医療安全情報」及び製薬会社からの情報提供等を基に、重要で速やかな周知が必要な情報は随時、病棟担当薬剤師等を通じ各病棟・診療科へ案内し、その他の場合は「薬剤部からのお知らせ」として小冊子にまとめ月に1回、各病棟、各診療科へ配布している。緊急安全性情報・安全性速報、直近のPMDA医療安全情報等は医薬品情報室から病棟担当薬剤師等を通じて速やかに処方医、診療科・病棟へ案内するなど、必要な情報を必要な場所へ必要なタイミングで提供するように努めている。

これらの情報は、院内の医薬品情報(DI)のホームページで閲覧可能にしている。また、それらの医薬品情報等は医学生・薬学生等の教育資料としても活用している。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年59回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【MEセンター実施】</p> <p>○新しい医療機器の導入時研修：21回、参加者総数203人 研修内容：医療機器の有効性・安全性に関する事項、医療機器の使用方法に関する事項、医療機器の保守点検に関する事項、医療機器の不具合が発生した場合の対応</p> <p>○特定機能病院に於ける定期研修：10回、参加者総数574人 研修内容：医療機器の有効性・安全性に関する事項、医療機器の使用方法に関する事項</p> <p>○その他研修（上記研修以外）：20回、参加者総数362人 研修内容：医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項、医療機器の使用方法に関する事項、その他（採用医療従事者への研修）</p> <p>【放射線部実施】</p> <p>当院設置の診断用高エネルギー放射線発生装置および診療用放射線発生装置の有用性・安全性、使用方法、保守点検、不都合が発生した場合の対応、使用に関して特に法令上遵守すべき事項についての講義を実施した。</p>	

No	研修内容（テーマ・講師）	研修期間	参加人数
1	安全取扱講習会 ONCOR Impression 小柳 亨（シーメンスヘルスケア）	令和3年7月19日 (16:30~17:30)	10
2	第6回佐賀放射線治療勉強会	令和3年7月31日 (14:00~16:00)	4
3	安全取扱講習会 FlexitronHDR 佐藤 友哉 他（千代田テクノル）	令和3年8月19日 (17:15~18:15)	9
4	安全取扱講習会 Versa HD 木崎 莉玖 （キャノンメディカルシステムズ）	令和3年9月21日 (16:30~17:30)	9
5	第19熊本放射線治療物理・技術研究会	令和3年11月20日 (12:50~15:40)	2
6	令和3年度実践的放射線治療人材育成セミナー リニアックの品質管理講習会（物理士・技師編） — AAPM TG-142の実践ガイドTG-198を学ぶ—	令和4年3月19日 (8:30~12:35)	2
7	安全取扱講習会 FlexitronHDR 鴻巣 洋平（千代田テクノル）	令和4年3月28日 (17:15~18:15)	9
8	第4回大分県放射線治療研究会	令和4年3月29日 (19:00~21:20)	1

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (有 ・ 無)
- ・ 放射線機器に係る計画の策定 (有 ・ 無)
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容 :
 - 【医療機器関係】
 - 年度初めに保守点検計画を策定し、その計画は医療機器管理システムにて管理され、各員が使用する携帯端末にて情報を共有し確認を行う。
 - 【放射線関係】
 - 製造業者の点検説明書及び添付文書に基づき、電気的安全点検、機械的安全点検、予防的点検等、保守点検表を作成し行っている。

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 放射線機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)

- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例：なし

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

【医療機器関係】

未承認新規高度管理医療機器に関する定期報告の実施。

PMDA、メーカーから情報を収集し、医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者へ報告。また、各セイフティマネージャおよび必要に応じ全職員へメールで周知。

医療機器安全管理マニュアルの改訂。

【放射線関係】

- ・ 各製造業者より安全情報が提供される。
- ・ 医薬品医療機器等安全性情報（厚生労働省ホームページ）及び医療機器関連情報（医薬品医療機器総合機構ホームページ）より情報収集を行っている。
- ・ 毎年開催される学会・研究会および研修会等に参加し、医療機器の安全使用のための情報収集を行っている。
- ・ 学会等の報告会を行い、周知している。
- ・ 製造業者より提供された情報文書を機器に携わる者へ閲覧させ、保存、ファイルしている。
- ・ 放射線部情報システム（RIS）を使用し、装置マニュアル及び安全管理マニュアルの閲覧ができる。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>「医療に係る安全管理のための指針」で医療安全管理責任者について副病院長（安全管理・中期計画担当）が医療安全管理責任者となることを明記しており、「医療安全管理委員会規程」に基づき、同副病院長が委員長となることとしている。また、医療安全管理体制図を省令改正に即したものとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> （1名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
<p>・医療従事者に対する医薬品安全使用のための研修会開催 全職員に対して年1回以上開催している。また、病棟や各部署で薬剤師が医療従事者に対して研修会を開催している。</p> <p>・医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の整備状況 年1回以上、医薬品業務手順書の作成又は変更について、安全管理委員会において協議した上で行っている。</p> <p>・医薬品業務手順書に基づく業務の実施状況 従業者の業務が医薬品業務手順書に基づき行われているか定期的に確認し、確認内容を記録している。処方から投薬までの一連の業務手順について、職員間で相互に確認を行っている。</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 調剤や病棟担当薬剤師から報告のあった疑義照会、プレアボイド・インシデント報告事項は、当該診療科長に文書にて案内し、薬事委員会、医療安全管理委員会で報告している。また、医療安全管理室と協働して、「薬」に関するイエローカードの文書を定期的に発行し周知している。また、医薬品情報室という専門の部署を設置し、PMDAらのメール等利用し医薬品に関する安全性情報、処方統計データなどについて一括して情報を収集・吟味・整理し、必要な情報を必要なタイミングで現場に周知している。</p>	

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

院内において未承認薬を用いた治療、ならびに医師から申請や調剤や病棟担当薬剤師から報告のあった適応外・禁忌使用を把握したものについて、医療安全管理室専従薬剤師がリスク、科学的妥当性を医薬品情報室等で評価検討し、当該治療の責任者は医薬品安全管理責任者とその実施の可否について協議する。医薬品安全管理責任者はその実施の可否について佐賀大学医学部附属病院未承認新規医薬品導入評価委員会の意見を聴く。医薬品安全管理責任者は、委員会からの意見書を参考に採否を決定し、当該診療科医師へ通知すると共に病院長へ報告する。その内容は医療安全管理委員会、運営協議会、各種関連会議に報告している。

・担当者の指名の有無 (・無)

・担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤部長)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (・無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容

- ① 日々、診療記録センターでインフォームド・コンセントの記載について確認し、不備については指導を行っている。また、同意書のスキャン状況の確認も行っている。
- ② 医師、看護師、メディカルスタッフといった多職種からなる監査担当者が、ピアレビューの中でインフォームド・コンセントの内容も監査し、結果を診療記録委員会、病院運営協議会等で報告している。必要に応じ、文書による指導を行っている。
- ③ 手術・検査・特殊療法同意書（化学療法を含む）については書式を統一化し、新規または改訂時には診療記録委員で内容の審査を行う。承認されたものを電子カルテに掲載し使用可能としている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

- ① 診療記録センター職員：日々の業務の中で、量的・質的監査を行い、不備に対しては掲示板やチェックリストにて通知している。不備の目立つ項目については、病院通知文を発行し、周知を図っている。
- ② 医師、看護師、メディカルスタッフといった多職種からなる監査担当者：各監査担当者がチェックリスト（23項目）について、他科の診療記録の監査を行っている。

③ 診療記録委員：②の結果を診療記録委員会で報告し情報共有するとともに、病院運営協議会等に報告している。また、各診療科にフィードバックを行う際に、改善項目を通知している。全般的に不備の多い項目については、文書により指導を行っている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（１５）名
うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（６）名
うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（０）名
うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（１）名

・活動の主な内容：

- （１）医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存，その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。
- （２）医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに，必要な指導を行うこと。
- （３）患者や家族への説明など医療事故発生時の対応状況について確認を行うとともに，必要な指導を行うこと。
- （４）医療事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに，必要な指導を行うこと。
- （５）医療安全に係る連絡調整に関すること。
- （６）医療安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。
- （７）その他医療安全対策の推進に関すること。

医療統計（院内であらたに発生した合併症や事例）の以下の 22 項目

1. 脳梗塞あるいは脳出血：症候性で画像検査上、明らかな病変を認めるもの。
2. 意識障害：JCS で 3 桁の状態が 1 日以上持続したもの。
3. 神経障害：歩行障害や麻痺、その他の持続する神経障害の発症。抗がん剤使用時は、Grade3 以上。
4. けいれん：重積状態のもの。
5. 心停止あるいは心室細動：心肺蘇生を必要としたもの。

6. 心筋梗塞：あらたな Q 波の出現及び CPK の上昇（ $\geq 1,000U$ ）。
7. 心不全：PCPS、IABP などの補助装置を必要としたもの（院内で装着したもの）。
8. 急性腎不全：血液透析を必要としたもの。CHDF を含むが、すでに慢性透析を導入されているものは除く。
9. 呼吸不全：人工呼吸器を必要としたもの。手術後の人工呼吸器管理に関しては、7 日以上挿管を必要としたもの。
10. 肝不全：血液浄化療法を必要としたもの。
11. 術後の重篤な感染症（SSI）：切開排膿、排液を必要としたもの。膿瘍、縦隔洞炎、膿胸、難治性（7 日以上治療を必要としたもの）創感染などで創の開放や再手術を必要としたもの。
12. 敗血性ショック：集中治療室管理を要したもの。
13. 重篤な視力、聴力などの感覚障害をきたしたもの（該当器官への手術による一過性的変化と考えられるものは除く）。
14. 多量出血（3000ml 以上）。
15. 内視鏡検査や処置中の消化管穿孔、重症膵炎。
16. 造影剤や薬剤によるアレルギー、ショック（入院加療を必要としたもの）。
17. 心臓カテーテル検査や血管内治療後の重篤な合併症：心タンポナーデなどで輸血や手術を必要とした出血、血腫形成。
18. 予定していなかった再手術（1 か月以内）や追加手術。
19. 長時間手術：予定手術時間の 2 倍あるいは、4 時間以上の超過延長。
20. 想定外の早期再入院。
21. 中心静脈穿刺に関連した合併症：動脈穿刺、気胸。
22. 肺動脈血栓塞栓症

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（3 件）、及び許可件数（3 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - （1）診療科等の長から高難度新規医療技術を用いた医療提供に関する規程（以下「規程」という。）第 4 条第 1 項に定める申請（以下「申請」という。）が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、規程第 3 条第 1 項に定める高難度新規医療技術評価委員会（以下「評

価委員会」という。) に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。

(2) 前(1)の意見の求めに応じ、評価委員会が述べた意見を踏まえ、当該高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科等の長に対しその結果を適否結果通知書(様式第2号)により通知すること。

(3) 当該高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合又はその他必要な場合には、診療記録等の記載内容を確認すること。

(4) 高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうか、職員の遵守状況の確認を行うこと。

(5) 高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び規程に定める事項の職員の遵守状況を確認した時に、その内容について病院長及び医療安全管理責任者に報告すること。

(6) 評価委員会での審査資料及び議事概要並びに職員の遵守状況の確認記録を審査の日又は確認の日から少なくとも5年間保存すること。

(7) 評価委員会に係る事務を行うこと。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数(32件)、及び許可件数(31件)

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 ・ 無)

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)

・活動の主な内容:

[高度医療機器]

当該診療科より未承認新規機器の患者への提供申出を受けた場合、未承認新規高度管理医療機器提供申請書及び審査内容確認書にて申請内容の確認を行うと共に、医療機器安全管理責任者はその実施の可否について未承認新規高度管理医療機器評価委員会の意見を求める。評価委員会では当該医療の提供の実施の「倫理性」、「科学的妥当性」及び院内で安全に行うことの「実現性」について審査する。医療機器安全管理責任者は評価委員会の意見を参考に適否を決定し、管理者への報告と当該診療科への通知を行う。また、当該未承認新規機器が適正な手続に基づいて使用されたか

どうか、遵守状況等の確認を行う。

[医薬品]

未承認新規医薬品導入部門長である医薬品安全管理責任者が、未承認新規医薬品導入評価委員会の開催を依頼する。未承認新規医薬品導入評価委員会では当該治療実施の「倫理性」、「科学的妥当性」及び院内で安全に行うことの「実現性」について審査する。委員会の長は、当該未承認新規医薬品の使用の適否、使用条件、使用後に報告を求める症例等について、医薬品安全管理責任者に対して未承認新規医薬品導入意見書を用いて意見を述べる。また、科学的根拠が確立していない未承認新規医薬品については、有効性、安全性の検証の必要性や、当該医療機関の体制等を勘案した上で、臨床研究として使用する等、科学的根拠の構築に資する使用方法についても検討する。医薬品安全管理責任者は、委員会からの意見書を参考に採否を決定し、当該診療科医師へ通知すると共に病院長へ報告する。未承認新規医薬品等を用いた医療が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び当該未承認薬投与後に患者が死亡した場合又はその他必要な場合には、診療記録等の記載内容を確認する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 285 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 26 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - 医療事故、死亡事例に係る情報の収集及び提供
 - 発生した医療事故の原因分析及び改善策等の検討
 - 改善策の実施状況の調査及び当該策の見直し
 - 再発防止のための教育・研修に関すること

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り ((病院名：熊本大学病院) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ ((病院名：九州大学病院) ・ 無)

・技術的助言の実施状況

【主な技術的助言事項】

- ・画像診断レポート等の確認について、3か月以降の未読の追跡がされていないため改善が可能なか検討いただきたい。
- ・職員研修（e-learning）実施時の確認テストの設問数が少ないこと、全問正解でなくてもよいという現状について研修効果を適切に評価するために改善が望まれる。

【助言事項に対する対応と改善状況】

- ・2か月後に未読となっているレポートについては医療安全管理室等で確認をすることを検討し、実施している。
- ・e-learningの設問については重要なポイントを押さえて設問としている。また、全問正解が望ましいが、まずはe-learning受講の浸透を図ったうえで、徐々に改善していきたいと考えている。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

佐賀大学医学部附属病院医療相談室内規に基づき、患者さん相談窓口として、「医療相談室」を設置し、対応している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

医療に係る安全管理のための研修を、主にe-learningシステムを用いて実施し、年2回以上の受講を義務付けているほか、採用時研修（4月）、中途採用者研修（毎月）の中で、特定機能病院に求められる医療安全管理体制、患者の安全確保のための手順と規則等を説明し周知している。

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：特定機能病院管理者研修（令和4年11月30日受講予定）

医療安全管理責任者：特定機能病院管理者研修（令和5年2月20日受講予定）

医薬品安全管理責任者：特定機能病院管理者研修（令和3年12月23日受講）

医療機器安全管理責任者：特定機能病院管理者研修（令和3年12月23日受講）

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構「病院機能評価：一般病院3」 令和4年3月

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

未公表

・ 評価を踏まえ講じた措置

改善事項は速やかに対策を講じることとしている。

・ 死亡事例報告に関する報告システムを作成し運用を開始した。

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

病院長に求められる資質・能力

(1) 人格が高潔で学識に優れ、かつ、医師免許を有している者

人格が高潔で学識に優れ、地域及びグローバルな視野を持ち、医学教育、医学研究及び高度医療を担うことができる能力を有し、また、佐賀県や佐賀県医師会等と連携し、本院が佐賀県域において地域医療の中核的役割を果たす使命を達成することができる者で、かつ、医師免許を有している者

(2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者

高度かつ先端的な医療を提供する特定機能病院の管理者として必要な医療安全管理業務（※）の経験並びに医療安全を第一に考える姿勢及び指導力等、医療安全管理について十分な知見を有し、医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者

※医療安全管理業務とは以下のいずれかの業務をいう。

- ①医療安全管理者、医療機器安全管理責任者の業務
- ②医療安全管理委員会の構成員としての業務
- ③医療安全管理部門における業務
- ④その他上記に準じる業務

(3) 病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有する者

当院又は当院以外の病院での組織管理経験等、高度な医療を司る特定機能病院を管理運営する上で必要な資質・能力及び経営改善能力等の資質・能力を有し、病院構成員の意見反映に留意しつつ、医療を取り巻く様々な変化に適切に対応し、中長期的な目標に向かい具体的な構想を示し、強いリーダーシップを持って病院経営にあたり、適正な管理運営ができる者

(4) その他以下に掲げる資質及び能力を有する者

本院の理念である「患者・医療人に選ばれる病院を目指して」や病院目標を念頭に入れ、佐賀県域における医療の最後の砦である大学病院としての使命を認識し、高度急性期病院の体制と機能を強化し、超高齢化社会の医療の中核を担うとともに、地域医療及び先端医療への社会の要請に応えられる未来を担う医療人の育成に積極的に取り組むことができる者

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 公表の方法

病院ホームページの「病院案内」の中で「病院長選考について」として専用ページを設け、関係規程等を掲載している。

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無) ・ 公表の方法 病院ホームページの「病院案内」の中で「病院長選考について」として専用ページを設け、関係規程等と併せて掲載している。 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
渡 孝則	理事(企画・総務担当)	○	佐賀大学医学部附属病院長選考規則第7条第1項第1号に基づく学長が指名する理事	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
末岡 榮三郎	医学部長・教授		佐賀大学医学部附属病院長選考規則第7条第1項第2号 医学部長	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
倉富 勇一郎	副病院長・教授		佐賀大学医学部附属病院長選考規則第7条第1項第3号に基づく医療系会議が選出した教員	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
藤満 幸子	副病院長・看護部長		佐賀大学医学部附属病院長選考規則第7条第1項第4号に基づく医療系会議が選出した職員	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
甲斐 直美	佐賀県健康福祉部長		佐賀大学医学部附属病院長選考規則第7条第1項第5号に基づく学長が指名した学外有識者(佐賀県の医療行政の担当責任者として、佐賀県の医療・保健・福祉全般に関する豊富な知見を有している)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
中尾 清一郎	株式会社佐賀新聞社代表取締役社長 国立大学法人佐賀大学経営協議会委員		佐賀大学医学部附属病院長選考規則第7条第1項第5号に基づく学長が指名した学外有識者(本学の経営協議会委員として、佐賀大学医学部附属病院の経営への理解とともに、民間企業の経営に関する豊富な知見を有している)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
松永 啓介	佐賀県医師会会長		佐賀大学医学部附属病院長選考規則第7条第1項第5号に基づく学長が指名した学外有識者(佐賀県医師会の会長として、佐賀県内の医療体制を把握しているとともに、医療・保健・福祉全般に関する豊富な知見を有している)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 病院の管理運営，人事，経営及びその他病院に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 毎月開催する診療科長が出席する病院運営協議会及び病棟医長や外来医長等が出席するチーフレジデント会議において、病院企画室会議における審議内容等を報告するとともに、病院ホームページにおいて、議事要旨を公開し、院内職員への周知を図っている。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ） ・公表の方法 大学ホームページの「佐賀大学規則集」に掲載 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/>無 ） 	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
野口 満	○	医師	病院長
入江 裕之		医師	副病院長
安西 慶三		医師	副病院長
野出 孝一		医師	副病院長
藤満 幸子		看護師	副病院長、看護部長
山下 佳雄		歯科医師	副病院長
江崎 幹宏		医師	病院長特別補佐
島ノ江 千里		薬剤師	病院長特別補佐
阪本 雄一郎		医師	病院長特別補佐
三原 由起子		看護師	副看護部長
北島 博文		事務職員	事務部長
南里 明		事務職員	経営管理課長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
大学ホームページの「佐賀大学規則集」に掲載
- ・ 規程の主な内容
佐賀大学医学部附属病院の組織及び運営について定め、また、病院長が病院の管理運営に関することを総括し、病院に勤務する職員を監督することが定められている。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - 【職名】副病院長（安全管理・中期計画担当）
 - 【役割】主として病院における医療事故防止のための安全管理体制の確立及び危機管理体制の構築並びに中期計画実施に関する病院長の職務を補佐する
 - 【職名】副病院長（卒後臨床研修担当）
 - 【役割】主として本院及び関連病院における研修指導及び専門能力を高めるための教育プログラムの構築に関する病院長の職務を補佐する
 - 【職名】副病院長（経営企画担当）
 - 【役割】主として病院経営の充実を図るために企画立案及び経営の分析等経営管理に関する病院長の職務を補佐する
 - 【職名】副病院長（医療業務担当）
 - 【役割】主として病院業務の改善と患者サービス向上に関する病院長の職務を補佐する
 - 【職名】副病院長（働き方改革・業務改善担当）
 - 【役割】主として働き方改革への対応等、適正な勤務時間管理方法の企画立案並びに業務改善に関する病院長の職務を補佐する
 - 【職名】副病院長（管理運営担当）
 - 【役割】主として、適正な人員配置やコスト管理等、病院における管理運営の充実を図るための企画立案に関する病院長の職務を補佐する
 - 【職名】病院長特別補佐（広報・地域連携担当）
 - 【役割】附属病院における広報及び地域連携について、企画・立案するとともに、当面する諸課題及び病院長が必要と認める事項について、病院長を補佐する
 - 【職名】病院長特別補佐（環境改善担当）
 - 【役割】附属病院における環境改善について、企画・立案するとともに、当面する諸課題及

び病院長が必要と認める事項について、病院長を補佐する

【職名】 病院長特別補佐（災害・大規模感染対策担当）

【役割】 附属病院における災害・大規模感染対策について、企画・立案するとともに、当面する諸課題及び病院長が必要と認める事項について、病院長を補佐する

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
病院長、副病院長、病院長特別補佐などの病院執行部はじめとする多職種が集まる病院マネジメント勉強会（定期開催：毎月2回）を実施している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p> 前回の監査委員会以降に開催された医療安全管理委員会、未承認新規医薬品導入評価委員会、未承認新規高度管理医療機器評価委員会、業務改善計画、その他医療安全の取り組みに関する資料・議事要旨等を監査した。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p> 病院ホームページの「病院案内」の中で「医療安全監査委員会」として専用ページを設け、関係規程等を掲載している。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学病院	○	医療機関において、医療安全に関する業務若しくは医療安全に係る研究に従事した経験を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
前川 律子	公益社団法人佐賀県看護協会		医療機関において、医療安全に関する業務若しくは医療安全に係る研究に従事した経験を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩永 幸三	認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク		医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

本学において定められた「法令遵守の基本方針」及び「国立大学法人佐賀大学における業務の適正を確保するための体制等について」に基づき、学長から指名された内部統制担当理事において、内部統制システムが有効に機能しているか、役員会の議を経て定められた項目について、役員会、大学運営連絡会等において状況の調査、確認を行い、必要に応じ、意見交換を行っている。

また併せて、監査室が実施する内部監査及び監事が実施する監事監査において、関連する事項についても監査を実施している。

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法

大学ホームページの「佐賀大学規則集」に掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 国立大学法人佐賀大学役員会、国立大学法人佐賀大学経営協議会にて、病院経営状況及び運営状況等の報告を行い、各委員からは忌憚のない意見や質問を受け、回答を行うとともに、その後の運営等に反映させている。また、令和元年10月2日より国立大学法人佐賀大学医学部附属病院業務監督諮問委員会を設置し、必要に応じて管理運営状況等について協議し、意見を受ける体制となっている。・ 会議体の実施状況 役員会（年22回） 経営協議会（年4回） 医学部附属病院業務監督諮問委員会（随時）・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 役員会（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年11回） 経営協議会（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年4回） 医学部附属病院業務監督諮問委員会（有・<input checked="" type="checkbox"/>）・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）・ 公表の方法 大学ホームページの「佐賀大学規則集」に掲載
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：
会議体の委員名簿

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年〇件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none">○ 電子カルテ上の医療安全管理室ホームページトップに掲載。○ 平成28年度に開催した研修会で周知、以降は採用時研修の際に周知。○ 採用時研修(4月)、中途採用者研修(毎月)の際に周知。○ 医療安全管理ポケットマニュアルに「公益通報対応フローチャート」を掲載。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページへの掲載、病院広報誌、新聞・テレビ報道 等	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 以下の横断的診療班 (全 13 班) を設置している。 「褥瘡対策班」、「緩和ケア診療班」、「栄養サポート班」、「輸血療法室」 「臨床腫瘍班」、「脳卒中診療班」、「外来化学療法室」、「口腔ケアサポート班」、 「呼吸サポート班」、「糖尿病診療班」、「横断的止血・血栓診療班」、 「結節性硬化症ボード」、「院内急変対応班」	